







































フェアトレード商品には、国際基準に基づき第三者監査・認証を受けた「認証商品」と、事業者自身が生産者から消費者にいたるまでフェアな取引であることを確認し、保証する「独自ルート商品」とがある。有効回答事業者数は2007年の18、2015年の24である。そのうち、1事業者が認証商品の認証機関（FLJ）で、残りが「独自ルート商品」に扱う事業者で、2007年は17、2015年は23である。このため単純に比較できない。

「認証商品」（FIとWFTO）と「非認証商品」（独自ルート商品）とに分けると、「認証商品」の方が伸びが大きく、「認証商品」のシェアが高まっている。